

日本鉄鋼協会記事

第1回評議員会 8月31日を期日として書面代行をもつて開催、次の議案を審議した。
議案第1号 定款中一部変更の件—原案の通り承認可決。

変更案

社団法人日本鉄鋼協会定款中次の通り変更する。

1. 第2条（事務所に関する規定）中「東京都中央区宝町2丁目4番地」とあるを「東京都千代田区丸の内1丁目1番地」に変える。
2. 第11条（正会員会費に関する規定）中「年会費1,500円」とあるを「年会費2,000円」に変える。
3. 第12条（学生会員会費に関する規定）中「年会費1,000円」とあるを「年会費1,200円」に変える。
4. 第13条（外国会員会費に関する規定）中「年会費2,880円」とあるを「年会費3,600円」に変える。
5. 付則に次の項を加える。

第11条、第12条および第13条の変更定款は、昭和39年1月1日から適用する。

議案第2号 名誉会員推挙の件—西独マックスプランク金属研究所長 WERNER KÖSTER 博士を名誉会員に推挙することを議決。

第6回理事会 日時：9月18日 17:00 開会。場所：協会々議室。出席者：三島会長ほか28名。

報告事項 I. 第6回および第7回編集委員会に関する件。II. 第6回企画委員会に関する件。III. 第5回研究委員会に関する件。IV. 第1回評議員会に関する件。V. 50周年記念事業準備委員会発足に関する件。VI. 鉄鋼標準試料委員会委員委嘱の件。VII. クリープ研究組合に関する件。VIII. 第6回本多記念賞受賞候補者推薦書提出の件。IX. 特別講演会開催の件。

協議事項 I. 研究委員委嘱の件。II. 秋季講演大会に関する件。III. 訪英視察団準備に関する件。IV. 協会各受賞候補者推薦依頼の件。V. 協会各員特典に関する件。VI. 鉄鋼生産設備能力調査委員会に関する件。VII. 第4回東洋レーヨン科学技術賞候補者および科学技術研究助成候補者推薦の件。VIII. 第2回原子力総合シンポジウム共催ならびに運営委員推薦の件。IX. 大河内各種賞候補者推薦の件。X. 理工学における同位元素研究連合発表会（仮称）の共同主催の件。XI. 事務局職員採用予定について。XII. 7, 8月中入退会その他会員異動の件。XIII. 7, 8月中収支決算の件。

第6回編集委員会 日時：8月28日、29日。場所：富士製鉄仙石芙蓉荘。出席者：佐藤理事ほか24名。

報告事項 I. 会誌第8号（8月号）、第9号（臨時増刊号）および第10号（9月号）完成予定について。II. 特別講演掲載について。III. 隨想について。IV. 第66回講演大会特別講演会について。

協議事項 I. 寄稿論文の審査。II. 会誌第12号（11月号）掲載論文の選定。III. パネル討論会について。IV. 技術資料について。V. 会誌改善について。VI. 書評について。

第7回編集委員会 日時：9月11日 17:00 開会。場所：協会々議室。出席者：佐藤理事ほか 21 名。

報告事項 I. 会誌第9号（臨時増刊号）。および第10号（9月号）完成予定について。

協議事項 I. 会誌第8号（8月号）の講評。II. 寄稿論文の審査。III. 会誌第14号（12月号）掲載論文の選定。IV. 外国雑誌購入について。V. 海外関連団体行事開催予定について。

第6回企画委員会 日時：9月10日 17:00 開会。場所：協会々議室。出席者：伊木副会長ほか 15 名。

報告事項 I. 第1回評議員会に関する件。II. 秋季講演大会に関する件。III. 特別講演会開催の件。IV. 鉄鋼生産設備能力調査委員会に関する件。V. 第6回本多記念賞受賞候補者推薦の件。

協議事項 I. 第4回東洋レーヨン科学技術賞候補者および科学技術研究助成金候補者推薦の件。

第5回研究委員会 日時：9月6日 17:00 開催。場所：協会々議室。出席者：村田理事ほか 15 名。

報告事項 I. 研究委員会設置の経緯について。II. 協会の研究活動について。

協議事項 I. 鉄鋼基礎研究懇談会について。II. 学術振興会の鉄鋼関係諸委員会との連絡について。III. 研究委員会で取り上げるべき問題について。

50周年記念事業準備委員会の発足 5月22日開催の理事会において設置方決定せられた本委員会は、その後次の諸氏が委員に委嘱され9月18日第1回会議を開催、発足することとなつた。

委員長 三島 徳七

委員 伊木 常世	武田 喜三	田畠新太郎	植山 義久	深堀 佐市	村田 巍
山本 信公	川村 宏矣	佐藤 忠雄	雀部 高雄	奥村 虎雄	木下 亨

鉄鋼生産設備能力調査委員会の設置 通産省重工業局長より日本鉄鋼協会々長に対し鉄鋼生産能力算定基準作成の依頼があつたので、これに応じ7月24日の理事会において本委員会設置のことを決定。次の諸氏が委員に委嘱せられその事業に着手した。

委員長 沢村 宏

委員 松下 幸雄 佐野 幸吉 作井 誠太 林 敏 武田 喜三 石原 善雄
村田 巍 原田 芳 杉沢 英男 藤本 一郎 木下 亨 福田 久光
田畠新太郎 (このほか各部会委員は省略)

特別講演会開催 9月26日東京都中央区京橋ブリッジストンビルにおいて開催。講師および演題次の通り。

L D 転炉未燃焼ガス回収技術の開発について

八幡製鉄株式会社副社長 湯川 正夫君

内部摩擦による鉄鋼の品質判定

西独マックス・プランク金属研究所長 WERNER KÖSTER 博士

会誌「鉄と鋼」臨時増刊号の発行 共同研究会製鉄部会が研究の成果を取りまとめて「製鉄技術の進歩」と題する報告書を作成したので、これを会誌「鉄と鋼」臨時増刊号(第49年第9号)として発行、会員全般に配布した。

Tetsu to Hagané Overseas の発行 このほど同誌第3巻第2号の編集を完了したので、印刷に付し国内および海外の関係方面に配布するとともに、一般の需めに応ずることとした。

評議員逝去 評議員、前理事岡本正三氏(東京工業大学教授、工学博士)は9月6日逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

鉄鋼標準試料委員会委員委嘱 東京大学工学部工業分析化学教室教授鎌田仁君を鉄鋼標準試料委員会委員に委嘱した。

研究委員委嘱 次の諸氏を新たに研究委員に委嘱した。

八幡製鉄技術開発部副本部長

橋 本 信

同 計画部部員

内 田 駿一郎

富士製鉄生産管理部

八 塚 健 夫

同 技術開発部

吉 谷 豊

日本钢管技術部技術開発室課長

原 淳

同 同

水 井 清

川崎製鉄千葉製鉄所千葉研究部第一研究課長

佐々木 健二郎

住友金属工業本社技術部技術課長

長 谷 川 太

神戸製鋼神戸工場技術課長

三 木 修祐

東北大学工学部教授

不 破 貞

京都大学工学部教授

盛 盛 利

東京工業大学精密工学研究所教授

田 中 実

支 部 記 事

東 北 支 部

金属関係学協会東北支部連合研究発表会 9月20日東北大学工学部において開催、研究発表講演が行なわれた。そのうち日本鉄鋼協会東北支部を講演希望支部とした講演は下記の通り。

1. 砂鉄中のチタンの分離について

秋田大学鶴山学部 佐藤 良藏 ○田口 昇

2. 溶鉄中の磷と酸素の相互作用係数について

東北大学選鉱製錬研究所 三木貢治 ○小泉 秀雄

3. ビレットの連続超音波探傷法について

富士製鉄釜石製鉄所研究所 鳥取友次郎 清水 幸雄 駒塚正一郎 ○桑畑 恒雄
4. 融光X線による炉中分析について 東北特殊鋼 ○大沼 光輝 菊池 隆 菅野 清

5. 各種鋳物用銑鉄の性状について 富士製鉄釜石製鉄所研究所 庄野 四朗 ○千田 昭夫 井岡 宥夫
6. 砂鉄銑のダクタイル用銑としての特性について 日本高周波鋼業八戸工場 小西恭三 ○加藤政治郎

7. 含窒素耐熱鋼の織状組織について 東北特殊鋼 大原正志郎 ○矢ヶ崎秀雄 千石 興治 鈴木 一男
8. 含モリブデン高マンガンオーステナイト鋼の研究 秋田大学鶴山学部 橋浦 広吉 渡部 允

9. Si処理ダクタイルのフェライト化焼結について 東北特殊鋼 和泉 純夫 ○柏原 光陽 横尾 博
10. 熱処理による黒鉛の挙動について(黒鉛鋼の研究) 東北特殊鋼 武内 政敏 ○岩佐 俊雄 長岡 勝昭

講演会後2班に分れA班は東北大学金属材料研究所、B班は東北大学選鉱製錬研究所を見学した。

ケスター博士講演会 10月1日金属学会東北支部と共に開催。会場一東北大学金属材料研究所

講演 工業用鉄の品質に関する考察 西独マックス・プランク金属研究所長 ヴエルナー・ケスター博士

北 陸 支 部

文部省委嘱機械金属工学講座 8月5日より13日まで富山大学工学部主催、北陸支部後援の下に富山大学工学部において開催。参加人員240名。学科目および講師次の通り。

特殊製鉄 富山大学工学部教授 森 棟 隆 弘

特殊金属材料 同 教授 室 町 繁 雄

金属組織学 同 助教授 山 田 正 夫

実夫男一郎
正敏安川
田田崎川
養池住瀬
田田崎川
富山大学工学部教授
助教授
教授
講師
同同同同

渡辺記念講演会 9月28日富山大学工学部において開催。講演題目および講演者次の通り。

1. 鉄鋼製錬の物理化学的研究
 2. 上吹転炉について
 3. シューマンの方法による $\text{FeO}-\text{CaO}-\text{SiO}_2$ 三元系スラグの SiO_2 および CaO の活量について

東北大学教授 三本木 貢治
八幡製鉄取締役 武田 喜三

京都大学教授 盛 利 貞

關 西 支 部

支部9月例会 9月21日大阪府泉南郡熊取町京都大学原子炉実験所において開催。次の講演があり、終つて実験所を見学した。

富太厘子炳の概要と実験所の計画

京都大学教授 柴田俊一

新 入 会 會 員 氏 名

(昭和38年7月1日～8月31日)

角三	遠松	加林	姉荒市	磯今	大岡河	黒佐	小塩	塩田立	谷竹中	南西	西森	溝村	森吉	一	衛郎	雄治	登也	正男	男孝	朗二郎	幹浩治	之一雄	貢弘	融祐	男治	弘喬	三男夫	郎清	男	久	方達	秀重	正達	和喜茂	則昭聰	英昭弘	閏俊	淳尚武健	義惠義繁	繩徹	五	田井藤	田藤	川牧瀬	部村	森崎上木	藤池谷	田中島口	村原條	井沢田	田口本	山西	西森	溝村	森吉	二	東新鋼業(株)	八戸工場	矢作製鉄(株)	大和钢管工業若松工場	小野田セメント(株)	藤原工場	東都製鋼(株)	東京大学工学部教授	日本砂鉄鋼業(株)	特殊製鋼(株)	蒲田製造所	(株)神戸製鋼所	住友機械工業(株)	日本パイプ製造(株)	法政大学工学部助手	中部鋼鋸(株)	太陽鉱工(株)	品質管理課	近畿大学理工学部	花園工具(株)	東北大学選鉱製錬研究所助手	鶴海耐火煉瓦(株)	東京製綱(株)	日本精線(株)	枚方工場	日新製鋼(株)	昭和電工(株)	秩父工場	東北特殊鋼(株)	室蘭工業大学教授	三菱電機(株)	研究所	日本真空技術(株)	鉄道技術研究所	新三菱重工業(株)	三菱造船(株)	広島造船所
----	----	----	-----	----	-----	----	----	-----	-----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	----	-----	----	---	---	----	----	----	-----	-----	-----	----	------	------	----	---	-----	----	-----	----	------	-----	------	-----	-----	-----	----	----	----	----	---	---------	------	---------	------------	------------	------	---------	-----------	-----------	---------	-------	----------	-----------	------------	-----------	---------	---------	-------	----------	---------	---------------	-----------	---------	---------	------	---------	---------	------	----------	----------	---------	-----	-----------	---------	-----------	---------	-------

宏次彦雄巖郎郎博繁起亨嗣士彦宏郎醇弘聖一夫浩宏介三春弥二
恒謙康力卓堅太一雅欣俊哲尚英泰圭啓千光壽
藤田野山山水瀨田田中田崎多人島滝脇原下上木下水田林村野上喜
伊梅栢梶陰清成松松山与石大漠桑末西野山江鈴柿清池小山中村

外 国 会 員	
Fuji Marden Co. Ltd.,	
Hong Kong	
学 生 会 員	
関西大学工学部金属工学科	
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
大阪大学工学部冶金学科	
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
大学院工学研究課	
"	"
工学部冶金科	
"	"
千葉工業大学金属工学科	
"	"
秋田大学鉱山学部冶金学科	
"	"
東北大学工学部金属工学科	
"	"
"	"
北海道大学工学部冶金工学科	
室蘭工業大学金属工学科	